

- 令和4年8月29日（月）13:30～16:30（3時間），Web開催
- 参加者－284名（CARATS／航空機運航DX検討会関係者）
- 説明内容
 - SWIMの概要
 - SWIM情報サービスの技術情報
 - システム構成
 - 情報サービス・カタログ
 - 情報サービスの種類と提供方法（インターフェース）
 - 情報サービスへのアクセス方法（ポータルサイトの利用イメージ）
 - 通信方法とセキュリティ／認証
 - 今後の予定
 - 可能な限り、前広に情報開示
 - 令和6年（2024年）下期からのサービス・イン
 - 質疑応答

説明会参加者からのコメント（一部）

- 各サービスの作りこみの段階で「使い勝手の評価」にあっては提供者のみならず、利用者が評価に参加し意見をFeedbackできるプロセスを希望します。利用しやすいシステムに寄与することに加えて、利用者のシステム構築時に必要となる有用な情報が得られると考えます。（航空会社A社からの参加者）
- 情報取得に複数の手法があるが、インターネット経由の利用方法もあり、追加の費用等が発生せずにメリットがある。（航空会社B社からの参加者）
- コンテンツ、サービスが各国で差異があると航空会社システムとしては投資増となる。なるべく標準化してほしい。（航空会社C社からの参加者）
- 多くの空港会社では航空局以外から情報サービスを利用している。航空局システムが有する情報の提供拡大をお願いしたい。（空港会社A社からの参加者）